

I. 広域観光研究会の概要

- ・関西の観光振興は、各自治体・団体がそれぞれのエリアを中心に取り組みが進められているが、今後は、各組織の活動情報や課題を共有する場をつくり、広域エリアである**関西としての目標を共有し、一体的な活動を展開していく必要がある。**
- ・関経連では、2013年11月に「広域観光研究会」を設置。2019年ラグビーワールドカップ、2020年東京オリンピック・パラリンピック、2021年関西ワールドマスターズゲームズ2021を中期的なターゲットとして、**関西広域の視点に立ち、官民一体となって進める「関西広域観光戦略」を1月中に取りまとめる予定。**戦略に基づき、関西広域連合、関西地域振興財団等とともに具体的な活動を展開していく。

【研究会体制】

- 座 長： 福島伸一・新関西国際空港会長
- メ ン バ ー： 関西広域連合、関西地域振興財団、関経連会員企業(都市創造・文化観光委員会 正副委員長会社等)
- オ ブ サ ー バ ー： 近畿運輸局、近畿地方整備局、近畿経済産業局、京都市、神戸市、堺市、京商、大商、神商、京都市観光協会、大阪観光局、歴史街道推進協議会

II. 広域観光研究会における検討状況

1. 関西が目指すべき目標の設定

【2020年数値目標案】

訪日外国人旅行者数 800万人 など

2. 目標を達成するための取り組み

「関西への誘客のための情報発信」と「魅力的な観光圏の整備推進」の2つの観点から取り組みを進める。

(1) 関西への誘客のための情報発信

- ・ 関西のシンボルマークの策定・活用
- ・ 観光ポータルサイトの創設
- ・ 関西を紹介するテレビ番組の海外放送
- ・ 海外プロモーション
- ・ ファムトリップ など

(2) 魅力的な観光圏の整備推進

- ・ 無料Wi-Fi利用環境の整備
- ・ 関西統一交通パスの創設
- ・ ムスリム対応の推進
- ・ 多言語対応の充実
- ・ マーケティングデータの整備 など

◆取り組み事例

①「はなやか関西」シンボルマークの活用

【主な活用例】

マークを使ったピンバッジの着用(企業、自治体、ホテル・空港の受付スタッフ等)、国内外のイベントでの使用(パンフレット、テーブルクロス、のぼり、Tシャツ、スイングポップ等)、関西国際空港大型ビジョンでの動画放映、関西を紹介するテレビ番組の海外放送での使用、各企業HPへの掲載 等



◆関西広域連合トッププロモーション
マレーシアでの観光展・物産展



◆シンガポール旅行博(出展ブース)



◆ALL関西フェスティバルinアラランプール



◆「KANSAI国際観光YEAR2014」シンポジウム



◆関西国際空港 国際線到着ロビーの大型ビジョン



②関西を紹介するテレビ番組の海外放送 テストトライアル

- ・ 関西の多様な魅力を海外で広くアピールし、関西の認知度・訪問意欲を高めるために実施。
- ・ 本事業のテストトライアルとして、総務省のモデル事業に申請(代表申請者名: ㈱博報堂)、10月に採択された。
- ・ 2015年2~3月に、タイと台湾にて放映を行う。

【タイ】

番組名: 「Spirit of Adventure」
※世界中の自然、人々の生活、文化などをレポートする番組。
本番組の4回分を関西特集として放映。

放映日時: 2015年 2~3月の火曜日 15:10~15:35(4話)

内容: ナビゲーターが自らの体験を通し、関西の魅力をレポート。

【台湾】

番組名: 「美の関西」※特別番組として放映。

放映日時: 2015年 2月の土曜日 17:00-17:30 (4話)

内容: 台湾のモデル・タレントが親孝行として自分の母親に美しくなってもらうために関西へ。各地で美に關連する体験(エステ、食事など)を通して、関西の魅力を紹介。

3. 推進体制

- ・ 関西の広域観光振興に向けては、広域かつさまざまな組織との協力体制が必要。
- ・ 当面は、関西広域連合、関西地域振興財団、関経連を中心にプラットフォームを立ち上げ、自治体、観光振興団体、経済団体、企業なども緩やかな連携を形成し、共通して取り組める事業を推進。
- ・ 関西地域振興財団の官民連携事業が終了する2017年度までには推進体制を確立する。

